

令和5年6月11日 14時開催

止々呂美小タウンミーティング 事後アンケート に対する回答

※内容を「①すぐできるもの」「②時間がかかるもの」「③できないもの」に分類し、「分類」欄に①～③の番号を記入してください。

No.	内容	分類	回答
1	道路管理に関して、今日は一点申し上げましたが、他に不備な箇所もあり、道路パトロールを行って現状把握され対処されるようお願いします。	①	【みどりまちづくり部 道路管理室】 職員が市内の現場確認へ赴く際にパトロールを実施し、現状把握及び危険箇所や不具合箇所の発見に努めています。
2	阪急バス・北大阪急行運賃について。	—	【地域創造部 交通政策室】 阪急バスの運賃は、上限運賃について、適正と認められる範囲で国土交通省の認可を受け、その上限運賃の範囲内で金額が設定されています。 阪急バスは、昨今の燃料費の高騰や運転士確保のための人件費の上昇等に対応するため、令和5年3月31日に国土交通省に対して、運賃の上限変更認可申請を行い、8月1日に国土交通省にて申請どおり運賃の上限変更が認可されました。 実際に乗客から収受する運賃についても、令和5年9月1日から改定（千里中央～箕面森町地区センター間の運賃は460円に改定）されており、令和6年秋（予定）にも段階的に改定する予定とのことです。 合わせて、現在の千里中央～箕面森町の運賃については、路線開設当初、箕面森町地域開発者から運行補填がなされ、運行経費の一部が賄われていたことから、阪急バスにおいて営業施策的な取り扱いがなされてきたため、本来の距離に応じた適正な金額より低廉に設定されています。現在は開発者からの運行補填も終了しており、本来収受する金額を下回る運賃設定となっていることから、今後、バス運賃の見直しをする場合は、適正な運賃額へ是正する方向と阪急バスから聞いています。 なお、北大阪急行線の延伸開業に伴い延伸線を利用することによる運賃負担の増加については、通常価格より割り引いた阪急バスと北大阪急行のお得な乗車券セットの

		販売や学生の通学定期購入に対する支援策を実施する方向で現在調整を進めています。今回頂いたご意見は全て阪急バスにお伝えします。
	グリーンロードについて。	<p>－</p> <p>【地域創造部 交通政策室】</p> <p>箕面有料道路をNEXCO西日本へ移管することで、料金の低廉化の可能性があるため、移管について大阪府を通じてNEXCO西日本へ強く働きかけているところですが、現在において、その具体的な移管時期などはまだ示されていません。</p> <p>なお、移管については、毎年、大阪府議会議員と連携して大阪府に対して要望を行っています。</p>
	ottaについて。	<p>②</p> <p>【子ども未来創造局 学校生活支援室】</p> <p>見守りサービス「otta」は、まちなかでの「人」や「防犯カメラ」による見守りを補完することを目的に導入しているシステムで、現在は小・中学校をはじめとする公共施設、通学路、公園、交番、民間施設等、市域で約700箇所の検知ポイント（otta端末の電波に反応し記録するポイント）を設けており、止々呂美小学校区には現在、約40箇所の検知ポイントがあります。</p> <p>検知ポイントの選定にあたっては、あくまで補完的役割を担うシステムであることを前提に、防犯カメラとのバランスやottaを利用する児童生徒等の動線を考慮して決定しています。</p> <p>検知ポイントは、条件が整えば電柱や公園、道路等への設置が可能ですが、設置費用だけでなく設置後の維持管理コストも発生することから、現時点においては既存の設置数を維持していくこととしており、増設は予定していません。しかしながら、ご指摘を真摯に受け止め、今後も引き続きニーズの把握に努めるとともに、より効果的に位置情報を記録できるよう、検知器の移設や増設の必要性について検討していきます。</p> <p>また、上記の専用機器を設置した検知ポイントのほかにも、同様の検知機能を備え</p>

		<p>た「otta 見守りアプリ (https://www.otta.me/app/)」をインストールしたスマートフォンやタブレットも、検知ポイントとして活用できます。このアプリをインストールすることで、誰でも「見守り人」として、通勤や散歩などの日常生活の中で、手軽に見守り活動に参加いただくことが可能です。現在、このアプリでの検知回数は、箕面市域で月平均延べ約 60,000 回の実績があり、引き続き、「otta 見守りアプリ」のインストールに協力いただけるよう市 HP 等で周知してまいります。</p> <p>なお、検知ポイントの不具合については、具体的な場所が分かれば対応できる可能性がありますので、otta コールセンターまたは箕面市教育委員会事務局学校生活支援室へご連絡ください。</p> <p>松戸市のような補助制度については、箕面市では、市費負担により見守りサービス「otta」のインフラを維持管理していること、また保護者のかたに無料で本サービスを利用いただける仕組みを導入していることから、他の見守りサービスの利用にかかる補助を実施する予定はありません。</p>
箕面市の防犯カメラについて。	—	<p>【総務部 市民安全政策室】</p> <p>自治会が設置した防犯カメラのメンテナンスは、自治会で行うこととなります。故障等の場合、修繕対応も自治会で行うこととなります。なお、その費用は、箕面市コミュニティ振興費補助金において、SD カード交換費用であれば 9 割の補助、機器の修繕であれば 4 万円を上限額として修繕費の 4 分の 3 以内の補助等がありますので、ご活用ください。</p> <p>ご指摘いただいた防犯カメラについても、自治会で設置されたカメラです。</p> <p>防犯カメラの動作確認は、カメラの下側に動作確認ランプがついていますので、動作確認ランプの点灯を確認してください。ランプが消灯や点滅している場合やその他不明な点は市民安全政策室までお問い合わせください。</p> <p>既設の通学路防犯カメラは、児童生徒の</p>

		<p>安全を確保するという観点から、市が平成26年に箕面警察署と協定を締結し、警察の情報をもとに協議しながら、効果的な場所に設置したものであり、追加の設置予定はありません。また、自治会防犯カメラについては、通学路防犯カメラで網羅できていない箇所に設置していただくため、自治会のご理解により、設置密度に応じた補助率に基づいて設置を進めていただいています。防犯カメラ設置の際は、市民安全政策室で設置箇所等のご相談をお受けしています。また、警察署のほうでも設置箇所については相談可能と聞いています。</p> <p>市所有の防犯カメラ映像の提供については、防犯カメラ管理要綱においてその取扱いを定めており、法令に基づく請求、民事であっても裁判所の命令に基づく請求がある場合や捜査機関等から犯罪の捜査目的として使用する場合以外で提供することはありません。自治会防犯カメラにおいても各自治会で管理要綱を定めていますので、自治会に内容をご確認ください。</p>
	<p>森町の防災と被災時の自治会の役割について。</p>	<p>一 【総務部 市民安全政策室】</p> <p>道路の通行止めなどにより森町・止々呂美地区が孤立した場合は、通行止めを早急に解消できるよう、道路管理者と連携して応急復旧工事を行います。通行止めが長期化する場合には、避難所であるところの森学園の運動場を災害時用臨時ヘリポートとして利用し、自衛隊などによる空路からの負傷者の搬送や救援物資の支給などを行います。</p> <p>箕面市災害対策本部は対策本部長である市長が責任者として指揮をとります。また森町・止々呂美地区では、北部特別対策部がとどろみの森学園においての応急対策全般を担当します。</p> <p>大規模災害発災当初は、市災害対策本部の人員体制が十分確保できない可能性が高いことから、迅速に支援物資を配布するために、優先的に自治会等の地域コミュニティを通して支援物資の配布を行います。非自治会員であっても支援物資を配布いたし</p>

	<p>ますが、迅速な支援物資の配布や安否確認のために、箕面市では自治会に加入いただくことを推奨しており、今後も啓発活動を継続的に実施していきます。</p>
<p>自治会の在り方について。</p>	<p>－ 【市民部 市民サービス政策室】</p> <p>大規模災害発生等において、最も頼りになるのは近隣による助け合い、地域の絆です。実際、阪神淡路大震災では、倒壊した建物から救出され生き延びた人の約8割が、家族や近所の住民等によって救出されており、日頃から共助の関係をしておくことが大切です。また、街中に設置されている防犯灯や防犯カメラは自治会が設置し維持管理しておられ、日々の生活の安全を守るため、自治会は大きな役割を果たしています。</p> <p>ご指摘のとおり、昨今は平常時において自治会の重要性は認識されにくく、デメリットが言われがちですが、まちづくりの主体は、そこで生活している市民であり、その生活者に最も身近なまちづくりの意思決定組織が自治会であることを、市民の皆様にご理解いただけるよう、市も引き続き周知啓発に努めていきます。</p> <p>また、時代に合った自治会の運用については、役員の負担軽減として、例えば回覧板を電子化する、書面決議を活用し会合の回数を減らす、役割分担をはっきりさせ特定の役員に過度な負担が集中しないようにするなど、様々な自治会で、現在、取り組まれているところです。今後このような動きが全市的に広まるよう、先進事例について、他の自治会へ積極的に広報を行っていきます。</p> <p>自治会役員の定期的な交代については、地域のことは地域の全員が共同して携わっていくという趣旨から、一定意味のある慣習と認識しています。また、役員への報酬支払は各自治会の判断で決めており、金額の多寡も含め市が関与すべきことではありませんが、報酬が大きくなるほど責任も増すと考え、あえて無償としている自治会も多数存在することを申し添えます。</p>

			<p>なお、市予算と、会員から徴収した自治会費は、目的・用途も管理者も別のものであり、合算して使用することは困難ですので、ご理解の程よろしくお願いいたします。</p>
3	市長以外の補足説明者として誰が出席しているのか、開会時に紹介があった方が良いのではないですか。	①	<p>【市民部 市民サービス政策室】</p> <p>「限られた時間を極力、スライド説明と意見交換に費やしたい」という思いから、あえて出席職員の紹介は省略していました。ご指摘を受け、今後のミーティングについては出席職員の役職及び氏名を紹介するようしています。</p>
4	子育て世代を対象としたミーティングを検討してほしい。	①	<p>【市民部 市民サービス政策室】</p> <p>昨年の10月25日、PTA連絡協議会のお借りして、PTA会長・副会長を対象とした市長タウンミーティングを開催しました。教育・子育てをメインに意見交換が行われ、市にとっても大変有意義な機会となりました。今後も、子育て世代を対象としたタウンミーティングを実施していきたいと考えています。</p>
5	保育に関する書類が多いので減らしてほしい。変更がなくても、毎年同じ内容の人数分が必要になる。	ー	<p>【子ども未来創造局 保育幼稚園利用室】</p> <p>保育所等の利用については、年に1度、保育が必要な理由を確認することとなっており、現況届を児童ごとに提出していただいています。添付していただく就労証明等の原本は1部とし、きょうだい分はコピーで可とするなど、できる限り保護者のご負担を軽減できるよう対応していますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
6	QAの所要時間ガイドラインをまずアナウンスした方が良いと思います。（他の人も公平にQ出来るように。）	ー	<p>【市民部 市民サービス政策室】</p> <p>発言の機会を公平に確保できるよう、「質問は、短く、簡潔に」とお願いしていますが、質問者それぞれに思いをお持ちで、質問が長くなりがちなかたがいらっしゃることも事実です。</p> <p>ご提案のように「〇分程度で」と具体的に案内した方が「簡潔に」とお願いするよりも効果的かどうかなど、引き続き、時間配分や適切な進行のあり方を検討していきます。</p>

			<p>また、当日できなかつた質問をミーティング後のアンケートに記入いただいて回答したり、今後も定期的にタウンミーティングを開催する等、多くの皆様にご意見をいただく機会の拡充に努めます。</p>
7	財政構造の説明および政策分野別（地域別）（インフラ・子ども教育分野）の予算配分の説明を望む。	—	<p>【総務部 財政経営室】</p> <p>令和5年度予算概要の6ページにおいて、歳出の構成比を公表しており、歳出予算に占める構成比として、目的別で教育費は10.3%、性質別では、インフラ整備にかかる普通建設事業費は23.8%となっています。なお、地域別での予算編成や公表はしていません。</p> <p>このほか予算概要では、各種指標や財政の見通しなどを掲載しています。</p> <p>【参照 URL（令和5年度予算概要）】 https://www.city.minoh.lg.jp/zaisei/yosan/h31/documents/r5yosanggaiyousasshi.pdf</p> <p>また、各年度の決算についても、「財政白書」を作成し、収支構造などを家計に例えて紹介しています。</p> <p>【参照 URL（財政状況の見える化）】 https://www.city.minoh.lg.jp/zaisei/3_1_kessan.html</p> <p>引き続き、財政状況の分かりやすい説明に努めます。</p>
8	時間が短い。（質問できない）	—	<p>【市民部 市民サービス政策室】</p> <p>ご質問の時間が確保できず申し訳ありません。</p> <p>多くのかたにご質問いただけるよう、引き続き、時間配分や適切な進行のあり方を検討していきます。</p> <p>また、当日ご質問いただけなかつた場合も、ミーティング後のアンケートに記入いただき、後日、回答したり、定期的にタウンミーティングを開催する等、ご意見をいただく機会の拡充に努めていきます。</p>
9	子育て支援・高齢者の介護サービス・健康維持の為のプールや	②	<p>【健康福祉部 高齢福祉室】</p> <p>当地域は介護サービス事業所等が少ない</p>

	<p>運動施設がない。これらの事を北摂地域で市町村一体型の包括的な行政サービスを考えていただけないでしょうか？（一例とし、ときわ台にある消防署のように）</p>	<p>ため、市民が近隣町の地域密着型サービス事業所も利用できるよう特例的に指定を行っています。今後も必要な介護サービスを提供できるよう整備に努めます。</p>
		<p>② 【子ども未来創造局 子育て支援室】</p> <p>現在、子育て支援として、保育士がとどろみの森学園(月3回)と森町自治会館(月1回)、ピースガーデン自治会館(月1回)に出張し、子育て中の親子が気軽に集え、楽しく過ごせる場の提供を通して相互の交流を促していることと、子育て・子育て等に関する相談対応や子育て関連サービスに関する情報提供等を行い、育児不安の軽減や解消に努めています。</p> <p>また、図書館の広域利用として、平成29年7月から北摂7市3町(箕面市・豊中市・池田市・吹田市・高槻市・茨木市・摂津市・島本町・豊能町・能勢町)の住民のかたが相互に利用可能となっています。</p>
		<p>ー 【子ども未来創造局 保健スポーツ室】</p> <p>スポーツ施設の包括的な行政サービス、これまでも豊能地区3市2町において検討しましたが、体育館や野球場、武道館など、それぞれの近隣市町の有する施設やその規模が異なること、また、利用料金も施設の種類や利用形態によって異なることから、スポーツ施設は広域的な連携にはなじまないとの判断となっています。なお、近隣市町のスポーツ施設であっても、空きがあれば利用は可能ですが、市外料金の支払いが必要です。</p>
10	<p>とどろみ・箕面森町の人と一緒に良い町にしたい。まきこんでください。</p>	<p>① 【市民部 市民サービス政策室】</p> <p>市長タウンミーティングは、令和4年度に「とどろみの森学園」で、令和5年度に「止々呂美ふるさと自然館」で開催しています。今後も定期的な開催に努めていきますので、このタウンミーティングを、ともに北部地域について考え、意見を交わす場として、活用いただければと考えています。</p>
11	<p>箕面萱野駅の活用として、能勢町や亀岡市からのバスを呼べる</p>	<p>ー 【地域創造部 交通政策室】</p> <p>能勢町や亀岡市のあき地・観光地対策に</p>

	のか。亀岡市のあき地観光地対策として声をかければよいと思います。		<p>については、各市町が検討、実施するものと考えています。</p> <p>なお、現在整備中の箕面萱野駅交通広場には、観光バスや学校などの送迎バス用の乗降場を整備予定であるため、能勢町や亀岡市から箕面萱野駅へのバスの乗り入れの要望があった際には、送迎バス用の乗降場の利用状況等を考慮したうえで、改めて検討いたします。</p>
12	森町近隣公園の桜が公園灯に近すぎてじゃまをしています。道が暗いと危険です。	①	<p>【みどりまちづくり部 公園緑地室】</p> <p>現場を確認し、剪定を実施しました。</p>
13	移動図書館が本年度でなくなりました。豊能町立と統合されていますが、本の冊数が少ないので使いにくいので、箕面市の各図書館から本をもっと融通しあえるようにしてほしい。	—	<p>【子ども未来創造局 中央図書館】</p> <p>豊能町とは図書館の相互利用の協定を締結し、豊能町の図書館を箕面市民も町民と同じように利用できるようになっています。豊能町立図書館にお探しの図書がない場合は、豊能町の予約サービスをご利用されることにより、ご予約に応じて箕面市立図書館の蔵書を豊能町立図書館に毎週配本し、豊能町立図書館を通じて箕面市の蔵書をお借りいただけます。今後も箕面市民・豊能町民がより利用しやすい図書館となるよう、連携・協力を行っていきます。</p>